

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましよう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましよう。

数や論理的に関する思考スキル

○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて変化をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに筋道立てて明らかにする
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える（もし全て□□なら、もし□□がなければ、…など）
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

読解、社会・自然科学に関する思考スキル

○知識

- ・情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・想起した知識を正しく運用する

○理由

- ・筆者の意見や判断の根拠こんきよを示す
- ・ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・現象の背後はいごにあることを明らかにする

○置換ちかん

- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題の状況じょうきょうを図表などに表す
- ・未知のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数と比を自由に行き来する

○比較ひかく

- ・多角的な視点してんで複数のことがらを比べる
- ・複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・複数のことがらの差異さいいを明確にする

○分類

- ・個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点、相違点そういてんに着目して、情報を切り分けていく

○具体化

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ある特徴とくちようを持つものを示す

○抽象化ちゆうしやうか

- ・個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係

- ・文章どうしのつながりをとらえる
- ・部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響えいきやうに目を向ける
- ・ある目的のための手段しゆだんとなることを見つけ出す

○推論すいろん

- ・情報をもとに、先の変化を予測する
- ・文章から、筆者の考えを論理的に導き出す

○類推

- ・情報を活用して、さらに別の情報を引き出す
- ・個々の共通点から、特定の事象を導き出す
- ・要素間の意味をとらえ、情報を補おぎなう

2019年度 第1回小6統一合判 **国語**
 偏差値5上げる！この1問

2 論説・説明文 大江健三郎『新しい人』の方へ

問九 筆者はなぜ本をゆっくり読むことが大切だと考えているのですか。最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 子供のころに本を読む習慣がなかった人でも、ゆっくり確実に本を読むことを心がけて努力すればそのうちに速読ができるようになり、たくさんの本を読むことができるから。

イ ゆっくり本を読もうとすることは、途中でものごとを投げ出さない忍耐力を養うのに大変役立つものであり、そういった力は子供の時にこそ身に付けるべきであるから。

ウ なかなか内容をつかめない難しい本もゆっくり読み進めれば理解できるものであり、ゆっくり読み続ける力をきたえておけば、そのような本を読み進めたいと思ったときに役立つから。

エ ゆっくり読むほかに内容を理解することのできない本は、早く読み進められる本よりも大切なことが書いてあり、そのような本こそ自分の一生を決めるような本になりうるから。

思考コード： B 1

思考スキル： 理由

筆者の意見の根拠を本文の表現から判断する問題です(理由)。この作品のテーマでもある「本をゆっくり読む」ことで得られる効果がどこに書かれているのかに着目します。すると、「本をゆっくり読むための自己訓練は、本当に読みたい本が、ゆっくり読まなければ内容をつかめない場合に必要になります」という箇所が見つかります。これとほぼ同じ内容が、選択肢ウになります。

ア「ゆっくり確実に本を読むことを心がけて努力すればそのうちに速読ができるようになり・・・」とはどこにも書かれていません。

イ「忍耐力を養うのに大変役立つ」のはゆっくり本を読むことではなく、赤線をたよりに「二度読むことで忍耐力が訓練される」と本文に書かれているので誤りです。

エ「早く読み進められる本よりも大切なことが書いてあり」とはどこにも書かれていませんのでこれも誤りです。

このように×の選択肢の根拠も本文から読み取ることができれば、より確実な正解を導き出すことができます。

問題番号	配点	思考	問題名	正答率	
4	②	2	A1	ことばの知識	94.4
4	⑤	2	A1	ことばの知識	93.2
4	④	2	A1	ことばの知識	91.8
1	問1	5	B1	物語文・小説の読解	91.4
4	①	2	A1	ことばの知識	89.5
1	問2	A 3	A1	ことわざ・慣用句	85.0
4	③	2	A1	ことばの知識	84.4
3	②	2	A1	ことばのきまり	80.9
1	問6	5	A1	ことわざ・慣用句	78.6
5	⑩	2	A1	漢字の書きとり	76.9
3	③	2	A1	ことばのきまり	76.2
3	④	2	A1	ことばのきまり	76.0
3	①	2	A1	ことばのきまり	72.6
1	問7	7	B2	物語文・小説の読解	72.1
5	③	2	A1	漢字の書きとり	71.7
5	⑥	2	A1	漢字の書きとり	71.3
3	⑤	2	A1	ことばのきまり	70.1
2	問6	2 3	A2	論説・説明文の読解	69.8
1	問5	3 4	B1	物語文・小説の読解	66.0
5	⑦	2	A1	漢字の書きとり	65.8
1	問9	5	B1	物語文・小説の読解	65.7
1	問5	2 4	B1	物語文・小説の読解	65.5
1	問5	1 4	B1	物語文・小説の読解	64.2
5	②	2	A1	漢字の書きとり	64.0
1	問4	5	B1	物語文・小説の読解	61.2
2	問6	1 3	A2	論説・説明文の読解	59.9
1	問2	B 3	A1	ことわざ・慣用句	58.7
2	問8	⑦ 3	B1	論説・説明文の読解	58.2
1	問10	5	B1	物語文・小説の読解	58.1
5	⑧	2	A1	漢字の書きとり	55.6
5	①	2	A1	漢字の書きとり	54.4
2	問4	5	B1	論説・説明文の読解	53.9
2	問2	5	A2	論説・説明文の読解	47.9
1	問8	5	B1	物語文・小説の読解	46.2
2	問3	5	B1	論説・説明文の読解	45.6
1	問3	5	B1	物語文・小説の読解	44.3
5	⑨	2	A1	漢字の書きとり	44.0
2	問7	5	B1	論説・説明文の読解	42.6
2	問5	5	B1	論説・説明文の読解	42.5
5	⑤	2	A1	漢字の書きとり	42.1
2	問6	3 3	A2	論説・説明文の読解	38.1
2	問8	⑧ 3	B1	論説・説明文の読解	34.5
2	問9	5	B1	論説・説明文の読解	31.4
5	④	2	A1	漢字の書きとり	31.3
2	問1	5	B1	論説・説明文の読解	28.2

2019年度 第1回小6統一合判 **算数**
 偏差値5上げる！ この1問

5 食塩数の濃度

5つの容器A、B、C、D、Eがあります。Aには食塩12g、Bには食塩4g、Cには水76g、Dには水80g、Eには水68gがそれぞれ入っています。

(2) Aとアの2つの容器の中身をすべて混ぜると、15%の食塩水ができます。アにあてはまる容器の名前をA～Eの記号で1つ答えなさい。

思考コード： **B 1**
 思考スキル： **情報を獲得する・調べる**

まず、「Aとアの2つの容器の中身をすべて混ぜると、15%の食塩水ができます」に着目します。この**情報**から、「Aと混ぜたのは水が入っている容器C、D、Eのどれかである」と**言い換える**ことができます。

その後は、「15%の食塩水にふくまれる食塩の重さ」に着目することで、求める答えにたどり着くことができます。

(3) イ以外の4つの容器の中身をすべて混ぜると、10%の食塩水ができます。イにあてはまる容器の名前をA～Eの記号で1つ答えなさい。

思考コード： **B 2**
 思考スキル： **情報を獲得する・調べる**
・特徴的な部分に注目する

まず、「イ以外の4つの容器の中身をすべて混ぜると、10%の食塩水ができます」に着目します。ここから、「食塩だけが入っているA、B」のどちらか1つ、または、「水だけが入っているC、D、E」のどれか1つだけ混ぜないと**言い換える**ことができます。

そこで、次の①、②の場合を**調べ**、混ぜない1つを特定していきます。

- ① 混ぜなかったのは食塩だけのA、Bのどちらか
- ② 混ぜなかったのは水だけのC、D、Eのどれか

①なら、C、D、Eはすべて混ぜることになり、②なら、A、Bはすべて混ぜることになります。このとき、混ぜた後にできた10%の食塩水にふくまれる「食塩の重さ」「水の重さ」という**特徴的な部分に注目する**ことで、答えを求めることができます。

算数				
問題番号	配点	思考	問題名	正答率
3 (1)	5	A1	時計算	95.0
1 (1)	5	A1	計算	86.8
1 (4)	5	A2	計算	75.5
1 (5)	5	A2	計算	75.4
1 (3)	5	A1	計算	71.7
1 (2)	5	A2	計算	71.3
6 (1)	5	B1	倍数と約数	67.7
2 (1)	5	A1	数字の順列	63.5
8 (1)	5	B1	平面図形の角度と面積	63.5
2 (3)	5	A2	集合算	57.2
2 (4)	5	A1	仕事算	56.6
5 (1)	5	A2	食塩水の濃度	53.2
2 (5)	5	B1	年齢算	50.4
2 (2)	5	A2	規則性	50.3
5 (2)	5	B1	食塩水の濃度	49.1
4 (1)	5	B1	円の面積と弧の長さ	46.1
1 (6)	5	A1	計算	45.5
5 (3)	5	B2	食塩水の濃度	39.2
2 (6)	5	A2	体積	34.3
3 (3)	5	A2	時計算	28.3
2 (7)	5	A2	表面積	25.2
3 (2)	5	A2	時計算	22.4
4 (2)	5	B1	円の面積と弧の長さ	21.1
7 (1)	5	B1	通過算	15.1
6 (2)	5	B2	倍数と約数	6.3
8 (2)	5	B2	平面図形の角度と面積	3.8
7 (2)	5	B2	通過算	2.6
7 (3)	5	B2	通過算	2.1
6 (3)	5	B2	倍数と約数	0.8
8 (3)	5	B2	平面図形の角度と面積	0.1

4 年表中の1587年⑭バテレン追放令より

問11 下線⑭の命令の概要は以下のようなものだったが、実際には徹底させることができなかったとされています。その理由を、条文の内容を参考に説明しなさい。条文は意識し現代語に直してあります。

(条文)

- ・・・キリシト教はよくない教えのため、それを伝え広めるのは許しがたいことである。
- ・・・よって宣教師たちを日本の地にとどめておくことはできない。今日から20日以内に帰国するように。
- ・・・南蛮（※1）の貿易船については、商売のことであるから特別に取り扱う。今後ともいろいろ売買するようにせよ。
- ・・・仏教を妨害しない南蛮人の来航は、商人でなくとも認める。

※1：主としてポルトガルやスペインのこと。

思考コード：B2

思考スキル：知識・理由・推論

条文からバテレン追放令の内容を**推論**します。この命令はキリシト教を邪宗とし宣教師（バテレン）の20日以内の国外退去を命じたものですが、貿易については従来通り奨励しました。バテレンとは厳密には正式に認められた司祭のことですが、日本では商人を含むキリシタン指導者一般のことも指します。商人でありながらキリシト教の教えを伝え広める南蛮人もいたということです。キリシタン指導者だけを国外に追放して貿易を続けることはできませんので、黙認するしかなかったのです。これが不徹底だった**理由**となります。

問題番号	配点	思考	問題名	正答率	
3	問2	2	A1	鎌倉時代	73.5
1	問3	2	A2	日本の地理	70.4
3	問10	2	A1	鎌倉時代	65.5
3	問9	2	A2	鎌倉時代	64.2
2	問9	2	A1	日本の工業	63.9
3	問5	2	A1	鎌倉時代	61.1
2	問1	2	A2	日本の工業	60.8
3	問12	2	A1	鎌倉時代	60.6
2	問2	2	B1	日本の工業	60.1
4	問6	2	B1	室町時代	56.8
3	問8	2	A2	鎌倉時代	52.7
2	問4	2	A2	日本の工業	52.2
3	問6	2	A2	鎌倉時代	52.0
4	問8	2	A1	室町時代	47.4
4	問4	2	A2	室町時代	46.4
4	問10	2	A2	室町時代	45.9
3	問1	2	A2	鎌倉時代	44.5
4	問7 (1)	2	A2	室町時代	44.3
4	問12	2	B1	室町時代	44.2
1	問4	2	A2	日本の地理	43.8
2	問10	2	A1	日本の工業	43.1
4	問7 (2)	2	A2	室町時代	40.0
2	問7	2	A2	日本の工業	39.8
3	問11	2	A1	鎌倉時代	39.4
2	問3	2	A2	日本の工業	37.9
1	問7	2	A2	日本の地理	36.4
2	問8	2	A1	日本の工業	35.1
1	問1	2	A2	日本の地理	34.0
4	問5	2	A2	室町時代	33.0
3	問7	2	A2	鎌倉時代	32.2
3	問4	2	A1	鎌倉時代	30.3
1	問8	2	A2	日本の地理	30.1
2	問12	2	A2	日本の工業	28.6
2	問5	3	B1	日本の工業	27.9
3	問3	2	A1	鎌倉時代	25.6
4	問3	2	A1	室町時代	25.6
4	問9	3	A2	室町時代	24.6
2	問11	2	A1	日本の工業	23.8
1	問2	2	A2	日本の地理	23.1
4	問1	2	A2	室町時代	23.0
1	問6	2	A2	日本の地理	22.6
4	問2	4	B2	室町時代	20.4
1	問5	2	A2	日本の地理	19.6
2	問6	4	B2	日本の工業	14.1
3	問13	2	A1	鎌倉時代	8.1
4	問11	4	B2	室町時代	6.0